

# 卒業生 この指とまれ！

第1回

今回の「この指とまれ」のインタビューに答えてくれるのは、令和3年度奈留高校離島留学1期生として卒業し、大学卒業後再び五島へ戻ってきた 浦 真由紀 さんです。



浦 真由紀 さん  
出身地:佐世保市  
所属 五島市役所  
地域協働課

—なぜ奈留高校に離島留学をしたのですか？

**中** 学3年生の進路を決める時期に、学校から配布された離島留学のパンフレットをみて、奈留高校に関心を持ちました。実際に体験入学に参加してみて、島の雰囲気がとても気に入ったので、奈留高校に離島留学してみようと思いました。

—奈留高校への離島留学の思い出を教えてください。

**特** に印象に残っているのは、3年間のホームステイ生活です。初めは、親元を離れて生活することが不安でしたが、ルームメイトやホームステイの方とも徐々に打ち解けることができ、楽しく過ごすことができました。ホストファミリーの方は学校のイベント事にもよく来てくれたり、話を親身になって聞いてくれたりして、いつも温かく見守ってくださったことが、とても嬉しかったです。

—大学ではどんなことを勉強・活動していましたか。

**大** 学では、公共政策を学びました。主に、地域の課題や魅力を持体系的に知るために、地域へのフィールドワークに参加していました。

また、海外研修に参加したことをきっかけに、地域の日本語教室で日本語学習をサポートするボランティア活動にもチャレンジしました。

—五島市に就職したのはなぜですか。

**大** 学で進路を決定するとき、大学でのフィールドワークの学びを活かせる仕事に挑戦したいと思いました。五島は高校時代にお世話になった地域でもあり、島での生活が懐かしくも感じていたので、五島で地域に貢献できる仕事に就くことを決めました。今は、五島で生活している高校時代の友人とも交流があり、毎日楽しく過ごすことができています。

—奈留高校や離島留学を考えている中学生にメッセージをお願いします。

**離** 島留学に対して、期待や不安を抱えている方も多いと思いますが、体験入学等の機会を通じて、島や学校に行ってみると、生活のイメージが掴めると思います。

離島留学で、自分の成長につながったこともたくさんあったので、中学生のみなさんにも離島留学にチャレンジしてみしてほしいです！



奈留高校卒業時  
クラスメイトと記念写真



海外研修に参加しました。